

FUJIEDA ROTARY CLUB Weekly Bulletin

例 会：毎週水曜日 小杉苑 藤枝市青木2-2-48 TEL 054-641-3321
事務局：藤枝市青木1-9-16 TEL 054-647-2300 FAX 054-647-2040
E-mail club1972@fujieda-rotary.org

会長：村松英昭 副会長：小宮弘一郎
幹事：後藤 功 副幹事：青島 彰

第1674回

2006-2007年度
RIテーマ

率先しよう

ウィリアムB. ボイド

<ソング> 君が代・奉仕の理想
<ソングリーダー> 竹田 勲君



菖 蒲

写真提供：鈴木舜光君

会長報告

村松 英昭君

2006-2007年度藤枝ロータリークラブ会長を務めることとなりました、村松英昭です。この一年間一生懸命がんばる所存でありますので、会員の皆様の御協力の程宜しくお願いいたします。

2006-2007年度RI会長ウィリアムB. ボイド会長のテーマは、「率先しよう」です。「率先しよう」は、ロータリアンが世界を変える力を持っているといウィリアムB. ボイド会長の信念を表し、親睦と奉仕を通じて明るい未来をもたらすために、120万人のロータリアンが力を合わせて率先していくことです。

私のテーマは、「楽しい例会、活力あるロータリー」です。会員の皆様個々がこのテーマに向け、率先して行動を起こしてください。そして、皆様で光輝く藤枝ロータリークラブにしていこうではありませんか。一年後を楽しみに行動を起こしましょう。

幹事報告

後藤 功君

- 前年度の3月26日に開催されましたPETの件はすでに報告済みですが、井上ガバナーの要請事項が多かった為、改めて内田ガバナー補佐が文書で提出して下さいました。各テーブルに配布してありますので確認してください。
- 2006～07年度「会員増強・退会防止&ロータリー情報セミナー」開催の案内が届いております。期日は7月29日(土)

要請者は、クラブ奉仕委員長、拡大、増強委員長、

ロータリー情報委員長又は、CLP担当者

- ガバナー事務所よりガバナー月信投稿ご依頼が届いております。
- 「ザ・ロータリアン」7月号の英語版が届いております。
- 2005～06年度の地区協議会、分科会報告書が届いております。
- 交換留学生の竹越翔子さんからレポートが届いております。
- 浜松RCより「70周年記念史」が届いております。
- 藤枝明誠中学、明誠高校、学校長、父母の会会長、後援会長、同窓会長より、陸上部、バスケットボール部、囲碁部、棋道部全国大会出場への賛助金のご依頼が届いております。
- 「平成18年度藤枝地区暴力追放推進協議会」の総会関係書類が届いております。
- おのろこ島チャリティー絵画展実行委員会より「チャリティー企画現代国際巨匠絵画展」へのご後援依頼が届いております。

委員会報告

広報・雑誌委員長

櫻井 龍太君

“ロータリーの友”
7月号の紹介



今年度の事業計画で、ロータリーの友を配布する第一例会において、その月の主要記事を紹介する事としました。

友の構成は左開きが、R I 指定記事を中心にロータリー関連の事項が示され、右開きは記念講演・俳句・和歌等の教養的な記事と、各クラブの活動状況・会員の意見発表等であります。

7月号では是非お読み戴きたい記事は、今年度のテーマの解説・R I 会長の紹介・2620地区ガバナーの紹介、並びに右開きのP16『言いたい・聞きたい』です。

■出席報告

青島 彰君

本日のホームクラブ 出席者	前回の補正出席者
33/41 80.49%	36/41 87.80%

(1)欠席者(事前連絡とメイクアップをどうぞ)

○岩田君 ○水野君 ○宮川君 浅川君 板倉君
桜井富君 仲田晃君 望月志君

(2)メイクアップ者

水野 義猛君(藤枝南) 岩田 規君(藤枝南)

宮崎 啓之進君(藤枝南)

水野 義猛君(静岡北・静岡南)

■ビジター

井上 勝彦君(島田)

■スマイルBOX

青島 彰君

●今年度会長をつとめます。皆様の御協力をお願いいたします。 村松 英昭君

●前年度、出席・スマイル委員会大変お世話になりました。今年度幹事をやらせて頂きます。前年度同様、ご支援、ご協力お願いいたします。

後藤 功君

●会場運営を担当させていただきます。よろしく。

竹田 勲君

●一年間プログラムへの皆様の御協力ありがとうございました。今年は会計です。又、一年間宜しくお願いします。 仲田 廣志君

●今年度の広報・雑誌委員長に就任しました。よ

ろしくお願いします。

桜井 龍太君

スマイル合計額 31,000円

●入会式 北村幸男君 ●



会社名：焼津信用金庫 常務理事
現住所：焼津市中根 457-2
趣味：ウォーキング、読書

■会長挨拶

村松 英昭君

あらためまして藤枝ロータリークラブ35代会長を務めることになりました村松英昭です。藤枝ロータリークラブにお



いて、戦後生まれの初の会長です。今私たちの年代は、定年、退職を迎える団塊の世代であります。

昭和60年に、弱冠35歳で入会させていただいて、早22年になりました。入会当時の会長は岩本謙之助さん、幹事は田中信治さんでした。入会の説明にお二人で我家に出向いて下さり、懇切丁寧な説明を受け、岩本さんからロータリーは職業奉仕ですから自分の職業を一生懸命やって下さいとの指導を受けたのがつい昨日のようです。また、スポンサーには大塚昌さんになっていただきました。私が入会したきっかけは、当時の分区代理で島田ロータリークラブの板倉一民さんより電話があり「入会しなさい」とのお話があり、私が「若すぎるのでもう少し経ってからにしたい」とお答えすると、「若くて結構」と言われ入会することになりました。大学の大先輩にあたり断ることができませんでした。入会から10年間程、ずっと最年少でありました。このように齢のはな

れた私を暖かく迎えてくださったのは当時のロータリアンの方々でした。

入会して間もない時期に坂本豊美パストガバナーの話を聴く機会を得「ロータリーとは本来 I s e r v e なんだけど、最近 W e s e r v e になってきている」というお話を聞き、まさに目からうろこの落ちる思いがしました。自分の職業を一生懸命行い、個人各々が s e r v e することがロータリー本来の精神であることが理解できました。それからは、いつも I s e r v e を考え行動するようになりました。I s e r v e は、私の精神的な糧になりました。

しかし、現在ロータリーが100周年を迎え機構改革の点でCLPが問題になってきています。CLP案を観ますとロータリーの創立の理念がすみに迫いやられ、金集め集団に変わっていくのではないかと懸念されます。この件をこの一年しっかり見定め、研究していかななくてはならないかと思っており、私に与えられた任務かと考えています。

今年度は、創立35周年の周年事業の年にあたります。実行委員長を最適任者の松葉義之君にお願いいたしました。ぜひ皆さんで実り多い周年事業にしていきたいと思います。

私のテーマは先程述べましたように「楽しい例会、活力あるロータリー」です。過去の踏襲にとらわれずほんの少し変えてみましょう。そのことが新しい発見にもつながり、楽しく活力あるロータリーになるでしょう。

これからの一年間後藤幹事とともに会を運営していきますが、至らない点が多々あると思いますが、会員皆様のご指導ご鞭撻の程宜しくお願いいたします。

■ 幹事挨拶

後藤 功君

今年度幹事を務めさせていただきます後藤です。会員の皆様方のご支援をいただき、会長をサポート



トしていきたいと思います。また、前年度の鈴木会長、松葉幹事本当にお疲れ様でした。心からご苦労様と申し上げたい。

このところ、村松会長は機会あるごとにクラブの運営方針、活動方針について述べられております。「明るい、楽しいクラブづくり」、「活力あるクラブづくり」と言われております。

今年度のRI会長のテーマは『率先しよう』です。ぜひ会員ひとり、一人が率先してこのテーマに応えていただきたいと思います。ぜひこうした行動を継続していきたいものです。幹事の本業とは、いかに情報をいち早く正確に伝えるかではないかと思っています。この一年肝に銘じていきたいと感じております。今年度は早々からCLP委員会が立ち上がりました。議論を重ねることは当然ですが、可能であればできるだけすみやかにめどをつけられればと思います。ご支援、ご協力を重ねてお願いしてご挨拶にかえさせていただきます。

■ 四大奉仕委員長基本方針・事業計画発表

◎クラブ奉仕委員長

小宮 弘一郎君



(基本方針)

クラブ奉仕委員会の10小委員長に積極的な意見・行動・計画を行って貰う

クラブリーダーシッププラン(CLP)の事も別に委員会が出来、3名が選出されましたので小委員会と一緒に検討して行く

(事業計画)

年間2回の小委員会委員長会議を開催する

◎職業奉仕委員長

酒向 謙次君



今年度の事業計画は、計画書を読んでいただけ

ればお分かりですので、少し私の考える「ロータリアンの職業倫理」について述べたいと思います。ロータリーの実践原理「最もよく奉仕する者、最も多く報われる」を読んでいるとドイツの社会学者であるマックス・ヴェーバーが「プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神」で論じた内容を思い起こします。内容とは、アメリカ、イギリス、オランダがカトリック国やルター主義の強いドイツより何故早く資本主義が発達したのか？ですが。要約すると、新教（カルヴィニズム）の影響の強い国では、「禁欲的労働に励むことによって社会に貢献し、この世に神の栄光をあらわすことによって、ようやく自分が救われているという確信を持つことができるようになる。」また、「呪術は、禁止され、合理的な精神を育てるようになった。」このように職務遂行の精神や合理主義は、近代的、合理的な資本主義の「精神」に適合していた。プロテスタントの倫理観と資本主義の推進力が非常に合致していたからこそ、こういった新教の国で発展したというものである。

ロータリーの発祥の地は、アメリカである。ロータリーの考え方を読み解くのに非常に参考になるものと思います。しかし、近代化とともに信仰が薄れてくると営利追求が自己目的化し、職業倫理（天職観念）の喪失が、継続的繁栄に問題を生じさせるのである。この継続的繁栄を行うにはどうしたらよいのだろうか？職業倫理の喪失を宗教でない次元でどう防いだら良いのだろうか？それこそが、ロータリー活動である。職業奉仕とは、村松会長のおっしゃる I s e r v e である。そして、職業奉仕委員会としては、会員相互の理解と研鑽の場をより多く提供することであると考えます。これには、先ず全会員に卓話をして頂くことです。日ごろのご自身の事業展開のお話を聴くことが基本です。今年度は、この基本線を実践に行いたいと思います。

◎社会奉仕委員長

松葉 義之君



地域での環境改善に取り組み、インターアクトクラブや地域団体等と連携を深めて清掃活動等具体的な活動を行います。又、子供や青少年の健全な発育、成長を目指して活動されているグループや団体等へ応援をして行きます。「子供と本をつなぐ会」への支援や福祉施設への慰問を行います。

藤枝花火大会後の蓮華寺池公園清掃奉仕、富士山美化運動への協力も計画しております。社会環境を少しでも良くして行く為の活動を目標に頑張ります。ご協力よろしくお願い致します。

◎国際奉仕委員長

石垣 善康君



地区、国際奉仕部長の基本方針に沿って「世界社会奉仕活動」「青少年交換活動」を実施します。

「世界社会奉仕活動」

識字率向上支援プログラムとして、一年間を通し、その趣旨を会員に広く知らしめ、募金活動を実行し、2007年度夏に、実行をいたします。

「青少年交換活動」

前年度の交換事業の報告書を作成し、当クラブの記録として保存、又、地区への報告をいたします。

<予算> 144,000円

■ 小委員会委員長基本方針・事業計画発表

◎環境保全委員長

杉山 静一君



<基本方針>

この委員会は、1990～91年度に設定された

委員会であり、現在に至るも非常に問題とすべき点が多く、一つ一つの問題を絞り込んで実施する様努力したいと思います。

■青少年交換学生の竹越翔子さんからのレポート■

(2006. 4. 17)

○最近やっとブラジルに慣れてきたと思う。知らず知らずにストレスが溜まることももうないと思う。前は体調を崩すことが多かった。ひどい時は、夜中に熱が出て起きれない。朝5時に病院へ行ったこともあった。ブラジルの風邪はあなどれない。日本がどれだけ清潔だったか分かった。

○藤枝に留学中のカウエの家へ泊まりに行った。カウエのママが本当に温かい人で、ホストマザーのようだった。

○ブラジルの貧富の差について聞いた。金持ちは国民の10%ほどだが、国のお金の90%を占めている。本当にお金のない人は何も持っていないことに等しい。

○4月8日から10日までイグアスの滝の旅行へ行った。みんな良い子たちばかりだったので、世界に友ができた。大体の人がポルトガル語を話せるので、コミュニケーションがとれるほどだった。8ヶ月弱ブラジルにいたけれど私よりはるかに言葉を理解している人や私と同じ期間でも、あまり話せない人がいた。自分らしく、あせる必要はないんだと思っている。

○日本人、一世、二世、三世が多く住む町へ留学してる子は、皆苦勞していることを知った。人にもよるが、多くの二世は、冷たい人がほとんどらしい。日本人留学生に日本語で話しかけ、ポルトガル語を話してくれない人もいるらしい。私は運が良かったと思った。一世の人たちの歴史をもっと学ぼうと思った。今やっと、自分がやりたいこと、進路を見つげられた。これから楽しくしていこうと思う。

<竹越翔子さんは8月20日に帰国します。>

(担当／成瀬)